

## 空中計測・マッピング部会活動報告

空中計測・マッピング部会 部会長 畠 周平

空中計測・マッピング部会は、2017年度における登録会員企業49社です。部会は隔月開催で年6回開催しており、部会長以外に3人の副部会長により運営されています。

部会に属す4つのワーキング・グループ（以下、WG）が活発な活動を行っています。

- ①レーザWG 2000年～
- ②MMS\_WG 2010年～
- ③図式検討WG 2015年～
- ④ドローンWG 2017年～

各WG活動の詳述は、WG長より後述します。

部会全体の2017年度上期における主対応は、i-Construction（国土交通省大臣官房技術調査課、国土地理院）、LPによる定期縦横断測量

の代替手法検討（国土交通省水管理・国土保全局河川計画課、国土技術政策総合研究所）、3次元総プロ（国土地理院）、日韓空間情報交流会（韓国空間情報産業組合、写真1）の対応を行ってきました。

建設革命におけるIoT技術の活用は、センサ、データ処理技術が日進月歩のスピードで進化しています。その先進技術に先人達が培った既往の測量手法や精度を解釈して、整合できる標準マニュアル等を策定しなければなりません。空中計測・マッピング部会は技術だけでなく制度も含め、各社のエキスパートにより行政サイドの課題に対応しています。



写真1 日韓空間情報セミナー（2017.8.30 ソウル）  
※前日にミサイルが北朝鮮より発射されたが、斉藤専務理事含む部会6名の参加に対し敬意がありました。

## 空中計測・マッピング部会（レーザ WG）活動報告

空中計測・マッピング部会 レーザWG長 横尾 泰広

### 1. はじめに

空中計測・マッピング部会レーザWG（以下、本WG）は、航空レーザ測量システムを保有す

る会員企業11社（2017年9月現在）で活動を行なっております。本WGのこれまでの活動として、航空レーザ測量の黎明期に「航空レーザ測量に